

# 2020. 3卒/学生アンケート調査実施結果

公益財団法人 大分県総合雇用推進協会

- ・ 9月時点で内定していた者の割合 74.4%
- ・ 内定者のうち県内企業へ内定した割合 75.9%

当協会が主催したイベント等に参加した2020年3月卒業予定者383人を対象として「就職活動についてアンケート調査」を9月に実施したところ回答があったのは39人(回収率10.2%)であった。

回答があった内訳は院生・大学生20人、短大生11人、専門学校生8人であった。

## 【学生の内定状況】

回答があった者のうち内定している者は29人(74.4%)であったが、2社以上から内定を受けていた者は7人(24.1%)と少なく、調査時点ではすでに就職先を決定していることがうかがえる。

また、県内の企業から内定を受けている者は22人(75.9%)であった。

未内定者の内訳をみると院生・大学生は1人、短大生は8人、専門学校生は1人であった。  
短大生の内定が遅れている結果となった。

## 【学生の就職活動の状況】

就職活動の開始時期は3月からが最も多く20人(51.3%)であった。

昨年の9月以前から就職活動を開始していた者も6人いたが、全てが院生・大学生であり就職活動期間が1年以上と長期化していることがうかがえる。

就職活動地域をみると、県外で就職活動を行った者は13人(50.0%)であったが、このうち12人が福岡県内で就職活動を行っている。

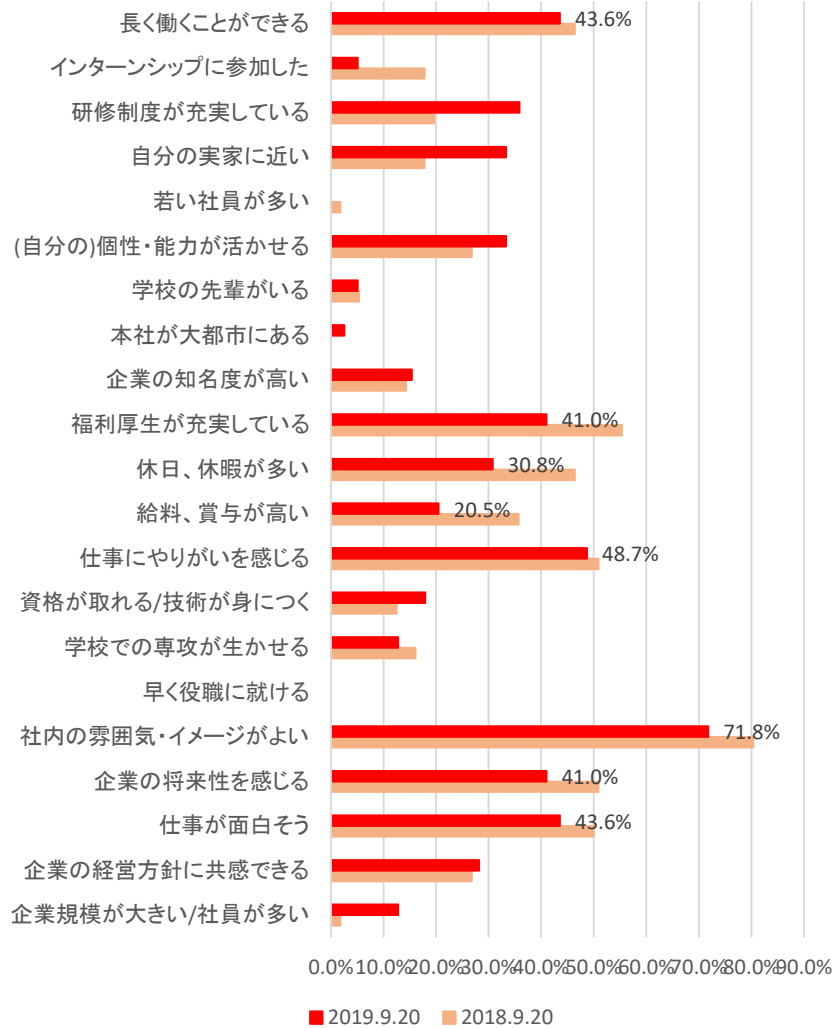
企業が実施したインターンシップへの学生の参加状況をみると、院生・大学生は13人、短大生は7人、専門学校生は1人であった。

## 【会社を選ぶポイント】

会社を選ぶ時の判断基準は昨年と同じく「非常に重視する」のは「社内の雰囲気・イメージがよい(71.8%)」と最も多く、続いて「仕事にやりがいを感じる(48.7%)」、「長く働けることができる(43.6%)」、「仕事が面白そう(43.6%)」の順となった。

一方「全く重視しない」のは「学校の先輩がいる(56.4%)」、「インターンシップに参加した(43.6%)」、「本社が大都市にある(38.5%)」の順となった。

## 非常に重視する



## 全く重視しない

